

自由権規約第6回政府報告  
自由権規約委員会による勧告に対する1年以内のフォローアップ文書への  
追加情報

昨年8月、我が国が国連人権高等弁務官事務所に対して提出した自由権規約委員会による勧告に対する1年以内のフォローアップ情報提供に関する文書に関し、慰安婦問題にかかる進展があったので、下記のとおり追加情報を提出する。

1 日韓両政府間では、慰安婦問題の早期妥結に向けて真剣に協議を行ってきたところであるが、昨年12月28日、ソウルにて日韓外相会談が開催され、日韓外相間で妥結に至り、慰安婦問題が最終的かつ不可逆的に解決されることを確認した。同日後刻、日韓首脳電話会談が行われ、両首脳は今般合意に至ったことを確認し、評価した。

2 日本政府は、これまでもアジア女性基金等を通じて本問題に真摯に取り組んできたが、今後、韓国政府が、元慰安婦の方々の支援を目的とした財団を設立し、これに日本政府の予算（10億円程度）で資金を一括で拠出し、日韓両政府が協力し、全ての元慰安婦の方々の名誉と尊厳の回復、心の傷の癒やしのための事業を行うこととなった。

3 現在、日韓両国政府はそれぞれ、合意内容（別添）を誠実に実行に移すべく取り組んでいるところであり、このような日韓両国政府の努力につき国際社会の御理解を頂きたい。潘基文国連事務総長を含め、国際社会は、日韓両国が合意に達したことに歓迎の意を表明している。

別添

## 日韓両外相共同記者発表

### 1. 岸田外務大臣

日韓間の慰安婦問題については、これまで、両国局長協議等において、集中的に協議を行ってきた。その結果に基づき、日本政府として、以下を申し述べる。

①慰安婦問題は、当時の軍の関与の下に、多数の女性の名誉と尊厳を深く傷つけた問題であり、かかる観点から、日本政府は責任を痛感している。

安倍内閣総理大臣は、日本国の内閣総理大臣として改めて、慰安婦として数多の苦痛を経験され、心身にわたり癒しがたい傷を負われた全ての方々に対し、心からおわびと反省の気持ちを表明する。

②日本政府は、これまでも本問題に真摯に取り組んできたところ、その経験に立って、今般、日本政府の予算により、全ての元慰安婦の方々の心の傷を癒やす措置を講じる。具体的には、韓国政府が、元慰安婦の方々の支援を目的とした財団を設立し、これに日本政府の予算で資金を一括で拠出し、日韓両政府が協力し、全ての元慰安婦の方々の名誉と尊厳の回復、心の傷の癒やしのための事業を行うこととする。

③日本政府は上記を表明するとともに、上記②の措置を着実に実施するとの前提で、今回の発表により、この問題が最終的かつ不可逆的に解決されることを確認する。

あわせて、日本政府は、韓国政府と共に、今後、国連等国际社会において、本問題について互いに非難・批判することは控える。

### 2. 尹（ユン）外交部長官

韓日間の日本軍慰安婦被害者問題については、これまで、両国局長協議等において、集中的に協議を行ってきた。その結果に基づき、韓国政府として、以下を申し述べる。

①韓国政府は、日本政府の表明と今回の発表に至るまでの取組を評価し、日本政府が上記1. ②で表明した措置が着実に実施されるとの前提で、今回の発表により、日本政府と共に、この問題が最終的かつ不可逆的に解決されることを確認する。韓国政府は、日本政府の実施する措置に協力する。

②韓国政府は、日本政府が在韓国日本大使館前の少女像に対し、公館の安寧・威厳の維持の観点から懸念していることを認知し、韓国政府としても、可能な対応方向について関連団体との協議を行う等を通じて、適切に解決されるよう努力する。

③韓国政府は、今後日本政府の表明した措置が着実に実施されるとの前提で、日本政府と共に、今後、国連等国際社会において、本問題について互いに非難・批判することは控える。

(了)